

科目名		授業形態	担当教員名	
作業療法概論 I		講義	嘉納 綾・串田 紗菜・真島 康志 角谷 哲生・鎌本 美香	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 ( 2 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
作業療法について、その全体像を総合的・体系的に理解する。具体的には、作業療法における作業の概念を理解するとともに、作業療法の歴史と理論を知る。作業療法実践過程の中での評価の重要性を理解する。4つの領域で働いている作業療法士の話を聞き、その特徴と魅力を知る。さらに、対象となる「障害」について理解を深め、「障害をもつ人」の作業の可能化を目指す作業療法の役割について学ぶ。				
授業の到達目標				
1. 作業療法とは何かを説明できる		5. 作業療法の理論を挙げ、説明できる		
2. 作業の意味と内容を説明できる		6. 作業療法の実践過程を説明できる		
3. 日本の作業療法士誕生から今日までの経過を説明できる		7. 作業療法評価について説明できる		
4. 諸外国の作業療法発展の歴史について説明できる		8. 専門職に必要な資質について説明できる		
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 作業療法とは？ 作業とは？			
2	作業療法における作業とは			
3	福祉用具の学習 (バリアフリー展参加)			
4	発表 (福祉用具について) 障害とは 障害体験準備			
5	作業療法の歴史			
6	障害体験			
7	作業療法実践過程について			
8	発表 (障害体験)			
9	作業療法の魅力① (精神障害領域 串田 紗菜)			
10	作業療法の魅力② (身体障害領域 真島 康志)			
11	作業療法の魅力③ (発達障害領域 角谷 哲生)			
12	作業療法の魅力④ (老年期領域 鎌本 美香)			
13	作業療法理論について			
14	作業療法評価・記録について			
15	作業療法士に求められる態度・倫理観について まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%	到達目標の達成度により評価する。		
レポート	30%	福祉用具・障害体験・歴史・理論のレポート及び「作業療法の魅力」講義後の感想文で評価する。		
小テスト				
平常点				
その他	10%	福祉用具・障害体験の発表内容等で評価する。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
標準作業療法学 作業療法概論 第3版	二木淑子 他編	医学書院		
「作業」って何だろう 第2版	吉川ひろみ	医歯薬出版		
作業療法の世界 第2版	鎌倉矩子	三輪書店		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
だから、作業療法が大好きです！	葉山靖明	三輪書店		
自由記載	当事者が書いた本で、作業・作業療法について理解するのに役立つので是非読んでほしい。			
備考				
授業予定は前後することがある。 教科書を読む等の予習をしっかりと行うこと。また、グループワーク、発表には積極的に参加すること。				